

[6年生]

[まどあて!!ピッチングゲーム]



[順番覚えて くださいな]



[1位を目指せ 10秒チャレンジ!]



[ペットボトル ホウリング]

[アスレチック できますよ]



[ペットボトル キャップレース]

[しゃてき]



[6年生]

[準備した児童のコメント]

「ピッチングゲームの的の材料集めから、作る工程がとても大変だった。」
「ハブニングはあったけど思った以上にたくさん人が来てくれて嬉しかったし楽しかった。」
「思った以上に準備や道具作りが大変でした。」
「参加してくれるみんなにちゃんと聞こえるように大きな声ではきはきと伝えることができました！」
「ルールをわかりやすく伝えるのが大変でした。」
「とても楽しかった。ものを作る場所は人気があって、すごく並んでいた。」
「どの出し物も気になったのに、時間が全然足りなかった。」
「どのクラスもおもしろいことを考えてやっているなと思った。」
「クオリティが高くて、夢中になった。」



低学年の子どもたちは、たくさんあるお店に目をきらきらさせて「次はどこいこうかな!」「楽しすぎ~!」「今これ作ったよ!」と元気いっぱい笑顔いっぱいでした。1年生はペアで行動し、どのお店に行くか二人で話し合っていて決めていました。まだまだ効率よく回るのは難しく、いろんな場所で上級生が優しく声をかけていました。



どうすれば人に喜んでもらえるか、どう役割を分担したらスムーズにすすむか、などは大人にとっても難しい問いです。子どもたちは、当日を想像しながら一生懸命考え、話し合いを重ねたことと思います。実際にやってみてうまくいったアイデアや、想定外のハブニングなど、たくさんのことを経験している姿を見ることができました。

先生たちはお客さんとして参加し、子どもたちに任せて見守っていると感じました。その場の状況に応じて、子ども同士コミュニケーションをとりながらなんとかしている様子や、失敗したと感じながらも楽しい雰囲気を出し合っている様子は、家庭の中ではみることのできない姿だと思いました。



この行事は、子どもたちにとって大きな学びの機会となっていたと思います。そして、子どもたちも先生も心から楽しんでいるのがわかりました。これからも続けていってほしい行事だと思いました。

